

△産業宣教 / 子どもの働き人&日曜学校メッセージ 最初の機会、最後の機会、永遠の機会(Ⅱ テモ 3:14-17)	△伝道学 崩れた子どもの学校を生かしなさい(ヨハ 21:15-18)	△核心 何を締めくくるべきか(使 1:8)
子どもたちをどのように生かすかに焦点を合わせなければならない。子どもたちは、福音を一度も聞けずにいた。最初の機会だ。みなさん手を離れる日、最後の機会になる。この子どもたちが正確な福音を受けたとすれば、永遠の機会になる。Ⅱ テモ 3:14 に幼いころから聖書を知っていて、救いの至る知恵を知っていて、十分に整えられた者にする神様のみにことばを受けたということだ。それゆえ、テモテは違った。 □序論_子どもたちに伝達できずにいる三つのこと 1. 完全福音(Complete Gospel) 刻印 2. 祈り(Prayer) 3. タラント(Talent) →伝道の実際(Evangelization) △これ(序論 1, 2)ができないなら、すべてできないのだ。タラントも揺れるしかない。それゆえ、最も簡単でなければならない伝道の実際が見えないのだ。これ(序論 1, 2)にならない人々が教えるからだ。福音を知って祈りができるならば終わったのだ。本質をのがしてはならない。 △祈りの奥義を持つ人は問題がきても大丈夫だ。答が見えるから。死がきても大丈夫だ。理由を知っているから。私が祈れるなら、子どもたちとの生活の中で祈りが伝わる。 □本論_未来キャンプ(Future)、祈りキャンプ(Prayer)、タラントキャンプ(Talent) 1. 未来キャンプ—真の涙(Tears)を知る Remnant 1) Ⅱ テモ 1:3-5 未来を知っていた 2) Ⅱ テモ 2:1-7 霊的兵士、競技する者、農夫—いつも味わう 3) Ⅱ テモ 3:1-13 苦しみるとき、滅びのときが来るので、あなたは学んで確信したところにとどまりなさい。 2. 祈りキャンプ(Contents)—神様が最も願っておられるコンテンツ(内容)があってこそ祈りができる 1) Trinity —三位一体神様と 5 力 2) 9 Settings —御座の祝福 9 つがたましいの中にセッティング 3) 3 Ages —空前絶後の祝福を越えて教会、個人、現場の 3 時代 3. タラントキャンプ(Challenge)—時代を生かすことができる、挑戦できるタラント 1) 救いの奥義 2) 神様の知恵 3) 十分に整えられた者になること □結論_秘密裡にしなさい(Secret) △みなさんは神様のことを話さなければならない。次世代を正しく生かせないなら、何にもならない。Remnant 運動は神様の福音的、霊的な情念だ。いくら良いことを経験したとしても、福音が入っていないなら、どうなるだろうか。祈りを知らない、何を味わうのだろうか。世界を生かす挑戦をするタラントは神様から与えられるので、人が作り出すのではない。これをすべしだ。	崩れた子どもの学校を生かさなければならない。胎児からすでに霊的なことが伝えられ始めているので、胎児から大学までだ。イエス様が、わたしのために泣かずにあなたの子どものために泣きなさいと言われた。復活されても、ペテロに 3 度も小羊を飼いなさいと言われた。 □序論_2022 年 1. 237、Healing、Summit—Document(237、いやし、サミットに対する資料準備) 2. Church System(3 段階、3 時代に対する教会システム) 3. Church School—Specialization(教会学校専門化) □本論_ Duty(使命) 1. 日曜学校(Sunday) 1) 礼拝 2) 祈り 3) キャンプ 2. 土曜学校(Saturday) 三つ—未来キャンプ、祈りキャンプ、タラントキャンプ 3. 毎日学校(Day) Fact(事実)—幼稚園、子どもの家、宣教院をさらに専門化、具体化、事実化させること □結論_ Spiritual Wars(霊的戦争) △完全に霊的戦争だ。すでに宗教団体は内容のあるものを始めているし、専門的に入りこんでいる。みなさんなら充分だ。福音なら充分だ。 △祈りながら来年を準備しなければならない。世界化になってこそ、世界福音化する。世界へ送りだしても良いシステムを作っておいて、タウン集会に入るのだ。1 か月の間、みことばが出てくることは保管しておいて、チェックしなければならない。宣教地域では本部と同じシステムを作って本部化させなければならない。	イエス様が最後に「ただ」と言われた。ここには制限された集中、選択された集中、すべてを生かすワンネス集中が入っている。 □序論_心配してはいけないこと 1. 始まり(Start)を正しくすべき 1) Correct Gospel(正確な福音)—福音は他のことが必要ないすべてだと悟る瞬間からサタン、暗やみ、わざわいが崩れる。 (1) Trinity—5 Powers(三位一体の神様が臨在されるとき、5 力ができる。) 2) Prayer(祈り) (1) 9 Settings(9 セッティング)—内容 (2) Concentration(集中)—一番良い集中方法は呼吸 3) Church → Talent(教会が働きが起きる 3 段階に用いられることがタラント) △1 段階：少数中心と使徒を生かすこと、2 段階：重職者中心と現場生かすこと、3 段階：Remnant と副教役者中心に世界大教区を作るシステム 2. ある日来る答え 1) 刻印 2) 根 3) 体質 3. 変化—未来を準備する一つずつが見える。 □本論 1. 使 1:8 オリブ山運動—未来を語りながら間違ったところから出るようにされた。 正確な福音を話された。 Trinity —キリスト、神の国、ただ聖霊 △この答えを受ければ、自然に間違ったところから出るようになる。 2. 使 1:14 マルコの屋上の中で祈りの実際を握った→9Settings(9 セッティング) 3. 使 2:41-42 霊的アイデンティティ回復/教会の実際/ 3 時代を味わう御座の現場 △正確な福音の実際と祈りの実際と教会の実際はなにか。 □結論_ 3, 9, 3(三位一体の神様、9 つのセッティング、教会・答え・タラントの 3 システム)をもって非対面で対面化されてこそ、 1. 237 2. いやし 3. サミットが可能だ。

2021 年 12 月 11 ~ 12 日 週間祈りカード

聖日 1 部礼拝
イスラエルの錯覚 (ヨナ 1:1-10)

△点検しなければならないことー私が答えを受けているのか、受けていないのか点検すべき。苦しく難しい理由はまだみなさんが本当のことを始めていないため。間違ったことを継続したこと

□序論_ヨナの錯覚はイスラエルの錯覚と私たちの錯覚

1. イスラエルの錯覚ー世界福音化をしなければならない唯一の始まりの祝福を受けたイスラエルが福音を伝えないから、ずっと強大国に囲まれて攻撃された。これを悟れず、ずっと錯覚したイスラエル
2. ヨナの錯覚ー神様が福音をくださって、ニネベに世界福音化する宣教師として送られたが、この本当の契約を握れず、ずっと間違ったこと握って錯覚。それゆえ、神様が暴風を送ってヨナを生かされた。神様は私たちを生かさうと、錯覚をしてはならないと、誤った道に行くなと暴風も送られる
3. 私たちの錯覚ー落胆する必要がない。
本当のことを始めなさいということ。私たちに三位一体の神様から与えられる 5 力、御座の祝福 9 つセッティングされる祝福を先に受けて、教会を生かして時代を生かさなければならない

□本論_神様のみことばは絶対に変わらない(ヨナに与えられた三つの教訓)

1. 三つの終末を知る者は必ず答えー間違ったことを握って苦勞する必要なく、ただ福音運動！
1) 個人終末 2) 時代終末 3) 地球終末
2. 三つの証拠を知る者は滅びない。
1) 三位一体の神様は今でもみことば成就 2) 今でも祈りに答え
3) 今でも救いの働きを成し遂げておられる。福音、伝道、宣教は絶対変わらない。福音は消滅しているので、回復させる運動は絶対に滅びない
3. 未来のために準備する者は神様の未来が保証される。
1) ヨナを生かされた理由は未来があるため
2) 滅ぼされるニネベを生かさなければならない未来
3) 福音をみなのがしたイスラエル民族を回復すべき未来

□結論_重職者時代を開きながら要請

1. 重職者ー70 人弟子運動をしなさい。70 か所に行けば弟子一名ずつ出てくる
2. 副教役者ー70 地域で 70 人弟子、70 人重職者を見つけ出ささい。70 地域だけ行けば一人はいる
3. 青年たちーひとつの地域を生かす 70 人弟子運動をしなさい。
△「私は今忙しいけれど、どのように 70 人弟子を見つけるのですか」それが、すなわちヨナが持っていた考えだ。「いや、私がどのようにニネベに行くのですか」これと同じ話だ。神様のみことばと私の考えは合わないことがある。どちらについて行かなければならないのか。

Remnant 礼拝
ヨナの祈り (ヨナ 2:1-10)

□序論
ー危機、滅亡ー

1. 間違ったこと(選民-異邦人)ー大人たちは間違ったことを握っている。ヨナは「私たちは選民で、ニネベは異邦人なのになぜ行けと言われるのか」という間違った考えを持っていた。
2. 錯覚(奴隷、みことば、わざわい)ー神様が奴隷として送られたのは、宣教のためだ。今日、ニネベに行きなさいと言われたが、タルシシュに行こうとしたとき、大きいわざわいが臨んで海に放り込まれた。これさえも錯覚だ。
3. 新しく始め-神様は新しく始めるように苦難の中に追い込まれたのだ。

1. 神の子ども(1 コリ 3:16)ー聖霊/

末信者(ヨハ 8:44)ーあなたたちの父である悪魔

- 1) Trinity 神様が 5 力で働き 2) 御座ー 9 セッティング
3) 3 時代-教会(タラント)
2. 祈る資格
1) 神の子ども(恵みで与えられたこと) 2) 身分 3) 権威
3. 受ける苦しみ(挑戦)ー苦しみがくれば無条件に挑戦しなさい。
1) 天命 2) 召命 3) 使命

□本論_神様は祈りに答えられる。

1. 祈りは科学だ。
1) 自然科学 2) 精神科学 3) 霊的科学
2. 答えの条件
1) 悔い改めの祈り(3 節)ー私が間違っても、悔い改めるとき確信が与えられる
2) 契約的祈り(4, 7, 9 節)ー「もう一度、私はあなたの聖なる宮を仰ぎ見たいのです」「私の祈りはあなたに、あなたの聖なる宮に届きました。」「私の誓いを果たしましょう」
△祈りは神様のこと、神様から与えられる使命を味わうことだ。このとき、科学的なことが起こる。
3) 信仰の祈り(2, 5, 6 節)ー「あなたは私のいのちを穴から引き上げてくださいました。」「引き上げてください」ではなく「引き上げてくださいました」と告白。私に苦しみが来たのは、神様の契約が臨んだという意味
3. 未来を変える力
1) プラットフォーム 2) 物見の塔 3) アンテナ
△私を難しい目に会わせしたのは、神様が私に重要なことを与えられるためだ。Remnant のとき、重要な作品を作りなさい。祈り手帳にメモすることが最高の作品だ。

□結論_(ヨナ 2:10)

1. 思い出すことー朝、目を開けば思い出すことを、すべてを祈りなさい
2. 見ることー一人に会ったり勉強をするとき、見るすべてを祈りなさい
3. 整理することー夜に一人でいるとき、みことばとともに一日を整理しなさい。

聖日 2 部礼拝
ヨナの伝道と錯覚 (ヨナ 3:1-10)

家庭滅亡(創 3 章)	次世代滅亡(創 6 章)	文化(経済暗やみ、創 11 章)
ネフィリム		
世界化	次世代化	文化化
創 3:15	創 6:14	創 12:1-3

□序論_霊的わざわいの伝染病が世界化されることを防ぐことが伝道だ。

1. 無理やり宣教をさせられる
1) 奴隷(次世代) 2) 戦争 3) 捕虜 4) 属国 5) 流浪民族
2. ヨナの無理やり宣教
1) 死ー死の中に追い込まれる 2) 悔い改め-悔い改めさせられる
3) 伝道地-伝道地に送られる
3. 次世代-私たちの次世代が無理やり宣教をするようにさせてはいけない
1) 237ー異邦人の庭 2) いやし-祈りの庭
3) サミット-子どもたちの庭
△一番良いのは 237 国現地にいる人を連れてきて訓練させて派遣することだ。これが神様が願われることで使徒 2 章、11 章、13 章だ。
△70 弟子ーひとつの地域、ひとつの民族をおいて 70 弟子にしなさい。ひとつの国家が少なければ、多民族でもよい。神様が願われるこの働きをするとき、健康と産業に答えが一番最初にくる。

□本論_時限付き滅亡の解決者(ヨナ)ー「もう四十日すると、ニネベは滅ぼされる」と行って話しなさい。悔い改めさせなさい。
△悔い改めるとき、神様がみこころを思い直してくださるのではない。悔い改めるときは、赦してください、福音を回復する挑戦のために悔い改めるとき、神様はみこころを思い直してください。

1. 緊急な使命
1) 創 3、6、11 章-サタンのわなから抜け出すようにさせなさい。
2) 偶像(使 13, 16, 19 章)ー美しい偽りで作った偶像から抜け出しなさい
3) 個人(隠れた苦難)ー個人は完全に隠れた苦難の中にいる。彼らを生かしなさい。
2. みこころー運命を変える使命
1) みことばが宣布される時(4 節)ー「再び主のことがあった」神様のみことばは絶対に変わらない。
2) みことばがあかしされるから-王が布告してすべての民が悔い改め、断食して主に立ち返った。
3) 悔い改めるとき(5, 7, 8 節)ー「荒布を着て」ということばは、悔い改めるとき、水も飲まず、家畜まで断食させた。このとき、神様は完全にみこころを思い直して、運命をひっくり返された。
3. 未来の次世代をたてる使命(ヨナ 4:11)ー「右も左もわきまえない十二万以上の人間」これより至急で貴重なことはない。

□結論

1. 未来キャンプ 2. タラントキャンプ 3. 祈りキャンプ

△土曜日ごとに Remnant、多民族みな呼んで本格的なキャンプをしななければならない。